

【緑地の樹】

?コヒガンサクラ?

西緑地の「百合の丘」に、どこか寂しそうに佇む一本の樹。

高さおよそ2m、根本径2cm、ただひたすら上を目指して棒の様に伸びている。ただの一度も花を付けたことが無い。この地に移植してから7年目、今日、上部に覆い被さっていたコナラの枝を一部取り払ってやった。これで少しは日も当たり、成長を促してくれるだろう。

この樹は伝「小彼岸桜」。 昨年逝去されたHさんが7年前、緑地に持参された。その時は50cmにも満たない細い小枝のようだった。ご友人からの頂き物で、「小彼岸桜」だと紹介された。けれども、誰が見ても「エノキ」にしか見えない。



謎の木の葉
(勝田さん撮影)

プロフィール:バラ科サクラ属の落葉小高木

比較すると、エノキよりやや葉が丸いような、茎の部分の横長点々が幼木の桜の木肌に若干似ているような、葉を揉むと微かに桜の香がする様な・・・はてさて?

Hさんが残してくれた、緑地での心待ち(かつ、謎)の一つだ。

来年か、再来年か、いつか花が咲いた時、その答えは明らかになる。だから今はまだ楽しみにして待つことにしよう。

(かつた)



謎の木の幹
(勝田さん撮影)